

はじめに

2月の下旬に、シンガポール発着のゲンティンドリームの3泊クルーズに乗船。ゲンティンに乗船するのは、2001年のスーパースターバーゴ以来。二年前にゲンティン香港が倒産、リゾートワールドクルーズという新会社を設立、再開したが、倒産の影響はあるのか、興味を持って乗船。なお、乗船の少し前に、マレーシアのゲンティンハイランドに行ったのだが、春節もあってものすごい盛況ぶりだった。クルーズとは別会社もあって、ゲンティン香港の影響はまったく感じなかった。

① 申込み

スマホにて、海外のネット旅し行代理店から購入。支払い手続きや連絡も、全てスマホのみで完結。

② 乗船

予約時にかなり部屋は埋っており、贅沢にバルコニー付きの部屋を選択。クルーズターミナルは込みあつてはいたが、スムーズに乗船できた。

③ 船内案内

紙の船内新聞は、一切なかった。また、以前スーパースターバーゴにシンガポールで乗船した時には、日本人スタッフと日本

語の船内新聞があったが、今回は日本語案内は一切なくなっていた。また、バーゴの場合は、かなり欧米人が乗船していた記憶があるが、今回は見なかった。現在は地元客をメインに集客しているようだ。

④ 飲食施設

メインダイニング

洋食と中華の2カ所。中華はセットメニューの量も質も良かつた。驚いたのは、洋食。席に案内されるのだが、テーブルクロスがない。なおアジアの船だから、相席はない。そしてウェイターが聞くのは、ビーフもロブスターもないメインの種類のみ。残りは水も含めてビュッフェカウンターからセルフで取りに行く。質も含めてメインダイニングとは言い難いサービスだった。なお就航時の写真には、きちんとテーブルクロスと食器がセットされているので、この状態はリゾートワールドになってからだろう。

ビュッフェ

こちらも、それほど充実しているとは言い難い。

有料レストラン

一度だけ、和食レストランを利用。こちらは完璧なサービスだった。ステーキコーナーもにぎわっていた。なるべく有料レストランに誘導しているかのようだった。

ドレスコードはかなり緩く、有料レストランでも水着とバスローブはだめと書いてあるだけだ。バーゴのフレンチは、ジャケット着用だったのだが。

⑤ カジノ

バーゴの場合、カジノは船首部分の閉鎖的な場所にあったのだが、この船では他の客船同様 中央部の、3層吹き抜け部にドンと構えている。バーゴよりも、カジノ船の性格が強いようだ。就航時には、アジア初のプレミアム船という触れ込みだったが、どうもイメージが違う。

⑥ アクティビティ

屋上のメインプールは、大きいのだがとても浅く泳ぐプールではない。バーゴでは船尾に子供用プールがあったが、この船ではなく、メインプールがそのまま子供用プールになっている。また、ジャグジーは定員 6 名の表示があるのだが、それ以上入ろうとすると、確実に監視員に止められる。安全には、注意を払っているようだ。

就航時のパンフレットに記載があった、小型潜水艦はなくなっていた。

⑦ ショー

シアターでのショーは、アクロバットショーなど充実していたが、1日はクルータレントショーだった。このあたりも、経費削減の影響かも知れない。

またバー360は中央にステージがあり、アクロバットショーなどを楽しめるということだったが、音楽演奏のみ。

⑧ 最後に

残念ながら、以前乗船したスーパースターバーゴほどの、満足感は得られなかった。船はハード面は新しく立派なのだが、メイクインダイニングを始めとして経費削減が目に付いた。

地元客で満船にできるなら、しばらくはこの傾向が続くのかも知れない。

また数年後 機会があればどう変化したか乗船してみたい。



- ここをタップして入力するだけで、ノートを作成できます。
- または、無料の OneNote アプリを使って、ノート用のデジタルノートを簡単に作成し、使用しているデバイス間で自動的に同期させることができます。

OneNote の詳細や入手方法については、 www.onenote.com を参照してください。